

尚秋風の強弱をりふ社家一人有り塩城小
居位を次田享保年中始て獅子歌を造立し
正月申仁加保を巡行を尚所を有神無神
の圖の形なりといふとも概か―其事才六
の巻に記し傳れを略く末社は尾五利居社
といふ有り下居社あり―

一 義王権現

小浪村より有り多神少彦名命三月十八日
多礼田樂あり有り流流あり院を龍山寺
といふ五月多海系流の岩場なり也玉納

經更帳より多海山龍山寺と書明曆年中
多海山系流より後より歎息より与社設所
多神主寺家ありて少出―下龍文の裏に
矢嶋小浪の沢云々ありと有り義王権現
獅子歌あり古來より正月申仁加保中巡行
社家の表より流あり飽海郡本田の流の次を
ふ―流のより上に小橋一條を渡り神出に
出羽なり多神の白橋といふは是也

ふあり多神の勢いれゆふことごと

りけてそ渡りなるその白橋